

令和7年(2025年)9月16日

保護者の皆様

札幌市立福井野小学校  
校長 中村 優

## 令和7年度全国学力・学習状況調査の結果及び改善の方向について

日頃より本校の教育活動に対しまして、温かいご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

4月に実施いたしました『全国学力・学習状況調査』について、福井野小学校としての結果概要及び改善の方向についてお知らせします。一人一人の調査結果については、実施学年の6年生に個人票を既に配付しております。「課題」は6年生のみの課題としてではなく、学校全体の課題としてとらえており、今後の学習指導の改善に役立てていきたいと考えております。

\*調査結果及び課題と改善の方向については、同じものを本校HPに掲載いたします。

### 【国語】

### 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

福井野小学校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p><b>【領域】</b> <b>【思考力、判断力、表現力等】</b></p> <p><b>話すこと・聞くこと</b></p> <p>◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p> <p><b>書くこと</b></p> <p>◆全国平均を下回っている。</p> <p><b>読むこと</b></p> <p>◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p> <p><b>【知識及び技能】</b></p> <p><b>言葉の特徴や使い方に関する事項</b></p> <p>◇全国平均を上回っている。</p> <p><b>情報の扱い方に関する事項</b></p> <p>◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p><b>我が国の言語文化に関する事項</b></p> <p>◆全国平均を下回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>● 目的や意図に応じ、伝え合う内容を検討すること。</li><li>● 書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えること。</li><li>● 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。</li><li>● 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えること。</li><li>● 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。 例) あつい日…同音異義の漢字の選択</li><li>● 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くこと。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 実際の話合いの場面を具体的に想定し、目的や意図に応じて話す内容や質問を分類・関係付けながら自分の考えをまとめ、互いに伝え合う学習活動の充実。</li><li>○ 書く目的や意図を明確にし、内容のまとまりを考えたり、順序を考えたりしながら、伝えたいことがより分かりやすくなるように文章を構成する活動の充実。</li><li>○ 書く目的や意図を明確にし、条件に合わせて詳しく書いたり簡単に書いたりするとともに、図表を用いるなど、必要な場合を判断しながら書き表し方を工夫する学習活動の充実。</li><li>○ 時間を表す言葉や接続詞などに着目し、事柄や時間的な順序を考えながら文章を読み、内容の大体を捉える学習活動の充実。その際、必要な語句や情報を丸や四角で囲んだり、線でつないだりするなど、視覚的に明らかにすることも大切。</li><li>○ 漢字のもつ意味を考えながら、文の中で正しく漢字を使うことを意識した活動の充実。</li><li>○ 現代の言葉遣いと共通点や相違点に着目しながら、時間の経過による言葉の変化を意識する取組の充実。</li></ul>

# 【算数】

## 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

福井野小学校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p><b>【領域】</b></p> <p><b>数と計算</b> ◆全国平均を下回っている。</p> <p><b>図形</b> ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p><b>測定</b> ◆全国平均を下回っている。</p> <p><b>変化と関係</b> ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。</p> <p><b>データの活用</b> ◆全国平均を下回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●数直線上で、1の目盛りに着目し、分数を単位分数の幾つ分として捉えること。</li> <li>●コンパスを用いて平行四辺形を作図すること。</li> <li>●角の大きさについて理解していること。</li> <li>●はかりの目盛りを読むこと。</li> <li>●伴って変わる二つの数量の関係に着目し、問題を解決するために必要な数量を見だし、知りたい数量の大きさの求め方を式や言葉を用いて記述すること。 <small>例) 使いかけのハンドソープがあと何プッシュすることができるのかを調べるために、必要な事柄を判断し、求め方を書く。</small></li> <li>●棒グラフから、項目間の関係を読み取ること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○0から1までが何等分されているのかに着目して、単位分数を捉えることができるようにすることが大切。その上で、他の目盛りが表す分数を単位分数の幾つ分かで考える活動の充実。</li> <li>○辺の長さや角の大きさ、辺の位置関係に着目し、図形の構成の仕方について考察する活動の充実。</li> <li>○身の回りのものの大きさについて単位を用いて表現する活動の充実。その際、示されたはかりの最小目盛りの大きさに着目することが大切。</li> <li>○基準量と比較量、割合の関係を正しく捉えるために、言葉や図、式を関連付けながら数量の関係を考察する活動の充実。その際、示された数量の中から、必要なものだけを選択することが大切。</li> <li>○様々なグラフの特徴を理解し、目的に応じて適切なグラフを選択してデータの特徴や傾向を捉え判断し、その判断の理由を表現でする活動の充実。その際、グラフのどの部分やどの数値に着目したのかを明確にすることが大切。</li> </ul>

# 【理科】

## 教科に関する調査の結果概要及び改善の方向等について

福井野小学校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
<p><b>【領域】</b></p> <p><b>「エネルギー」を柱とする領域</b> ◆全国平均を下回っている。</p> <p><b>「粒子」を柱とする領域</b> ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p><b>「生命」を柱とする領域</b> ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p> <p><b>「地球」を柱とする領域</b> ◇全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●観察、実験などで得た知識を身に付けること。</li> <li>●水の温度による体積の変化を根拠に海面水位の上昇した理由を予想し、表現すること。</li> <li>●観察、実験などで得た、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現すること。</li> <li>●観察、実験などの結果を基に結論を導いた理由を表現すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○条件を変えて観察や実験をし、その結果から何が分かるのかを明確にすることを通して、実感を伴った知識を身に付ける活動の充実。</li> <li>○結果の具体的な数値や、それを分析した内容など、得た結果を事実として分析して解釈し、それを結論の根拠として表現する活動の充実。</li> <li>○問題を見出す力を育むために、観察、実験の結果を比較して、差異点や共通点を基に、具体的な条件に着目し、思考したり表現したりする活動の充実。</li> <li>○より妥当な考えをつくり出す力を育むために、観察、実験などの結果を基にした具体的な数値や事物・現象の変化など、根拠を明確にして自分の考えをつくり出し、表現する学習活動の充実。</li> </ul>

全国学力・学習状況調査では、学習意欲や学習環境、生活に関する質問を児童に実施しました。この質問の中から、全国と比較して差異の大きい質問、本校の児童の傾向が顕著に見られる質問について分析しています。

### 【全国平均に比べ「肯定的な回答が多かった」設問】

\* ( )は全国の数値

- ☆毎日、同じくらいの時刻に寝ている。**90.6%** (81.9%)
- ☆自分には、よいところがある。**92.2%** (86.9%)
- ☆先生は、よいところを認めてくれている。**98.5%** (92.2%)
- ☆困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。**84.4%** (70.6%)
- ☆学校に行くのは楽しい。**92.2%** (86.5%)
- ☆自分と違う意見について考えるのは楽しい。**89.0%** (78.1%)
- ☆読書が好き。**81.3%** (69.7%)
- ☆学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり2時間以上読書している。**10.9%** (6.4%)
- ☆地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある。**45.3%** (39.4%)
- ☆地域や社会をよくするために何かしてみたい。**93.7%** (81.3%)
- ☆授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、ほぼ毎日使用している。**73.4%** (46.7%)
- ☆PC・タブレットなどのICT機器で文章を作成することができる。**92.2%** (81.8%)
- ☆PC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができる。**81.2%** (69.3%)
- ☆PC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション(発表のスライド)を作成することができる。**90.6%** (76.7%)
- ☆PC・タブレットなどのICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。**90.6%** (84.6%)
- ☆学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。**92.2%** (79.4%)
- ☆授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。**98.5%** (91.9%)
- ☆学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。**92.2%** (80.8%)
- ☆国語の勉強が好きである。**76.5%** (58.3%)
- ☆国語の授業の内容がよく分かる。**92.2%** (82.8%)
- ☆国語の授業で、先生は、あなたのよいところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれる。**93.7%** (78.2%)
- ☆算数の勉強が好きである。**75.0%** (57.9%)
- ☆算数の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っている。**78.1%** (65.3%)
- ☆理科の勉強が好きである。**93.8%** (80.1%)
- ☆自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問をもったり問題を見い出したりしている。**82.8%** (68.9%)

### 【全国平均に比べ「肯定的な回答が少なかった」設問】

- ☆朝食を毎日食べている。**90.6%** (93.7%)
- ☆毎日、同じくらいの時刻に起きている。**89.1%** (91.0%)
- ☆土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たり4時間以上勉強している。**0.0%** (7.4%)
- ☆学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たり2時間以上勉強している。**21.8%** (24.9%)
- ☆PC・タブレットなどのICT機器を活用し、友達と協力しながら学習を進めることができる。**85.9%** (87.5%)
- ☆授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができる。**81.2%** (82.5%)
- ☆将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思う。**28.1%** (30.0%)

「先生は、よいところを認めてくれている」「困りごとや不安をいつでも相談できる」の項目で肯定的な回答が全国平均を上回っていることから、昨年度の課題であった「『一人一人が大切にされている』と実感できるよう、『子どもの声を聴く』ことを意識し、子どもたちの思いや願いに寄り添う」ことに関しては成果が表れていると感じます。また、PC・タブレットなどのICT機器の活用についても肯定的な回答が多く、「ICT機器を使っていろいろなことができる」と自信をもっている児童が増えており、情報活用能力が育まれてきていると考えられます。今後は、子ども同士の協働にも力を入れ、より学びの質を高める活用を目指してまいります。

質問調査では、国語・算数・理科と3教科とも「好き」との肯定的な回答が全国平均を大きく上回っており、児童の学習に向かう基盤はできていると考えられます。その一方で、今回の学力調査での正答率は3教科とも全国平均を下回っていることから、児童の学習意欲を学力の定着へと結び付ける手立てや工夫が課題であると言えます。休日や、平日の授業以外の学習時間が全国平均と比べ少ない傾向があり、学校での授業改善はもちろん、ご家庭とも連携を図りながら、学習時間の確保に努めていく必要性を感じます。さらに、「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる」の項目で肯定的な回答が全国平均を上回っていることから、今後は一歩進んで、「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすること」も目指していきたいところです。

最後になりますが、「地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある」との回答が全国平均を上回っています。加えて、「地域や社会をよくするために何かしてみたい」との項目も全国平均を大きく上回っています。これは、福井野地域が、子どもたちを温かく見守り育ててくださっているからこそ、子どもたちも「地域や社会のために…」と考えられるのだと思います。今後も、学校・家庭・地域の連携を大切にしながら教育活動に取り組んでまいります。